



金井中学校だより



2025年2月19日第11号

「命の大切さと強さ ～東日本大震災の講演より～」

校長 松岡 健

2025年の「節分」は例年より一日早い2月2日、「立春」も同じく早い2月3日でした。その後の数週間、暦の上では春を迎えたはずなのに、この冬最大の寒波が押し寄せて、「寒い」というより「痛い」という感覚にもなりました。しかしながら、生徒の元気よさは驚くばかりです。体育実技でサッカーやアルティメット（フライングディスクでゴールを奪う競技）のゴール型球技の単元で、寒さに負けない声が校庭に響いています。そして、18日は、「雨水（うすい）」です。降る雪が雨に変わり、雪解け水で大地が潤ってくる時期となります。その後、大地が温まり、冬眠していた虫が穴から出てくる「啓蟄（けいちつ）」（3月5日）となります。

さて、2月10日の全校朝礼では、私の講話に代わって被災体験をお話しいただく機会をもちました。講師は、岩手県陸前高田市出身のプロ砲丸投げ選手である佐藤征平（さとうまさひら）さんです。佐藤さんは、14年前の3月11日、高校を卒業して東京の大学に進学する直前に東日本大震災により被災をしました。津波によりお父様を亡くされています。親せきや友人の命も失われ、憔悴のなか、オリンピックを目指す競技生活が始まり、国体（国民スポーツ大会）や陸上日本選手権での輝かしい功績は、頭が下がる思いです。また、生徒たちには、「何気ない日常がいかに大切なものであるのか」と「命の大切さ」を伝え、メジャーリーグのDに入団した大船渡市出身のS選手も引き合いに出していました。生徒はその話真剣に耳を傾け、自分の生活と重ね合わせている様子が見られました。



佐藤さんと話をすると、「命の強さ」について、考えさせられます。「どうしたら命を強くできるか」と尋ねると、「笑うこと」

「相手を楽しませること」「感謝すること」「面倒くさがらないこと」「夢中になれることを継続しておこなうこと」と応えてくれます。加えて、「多くの仲間たちに囲まれて命が強くなる」と教えてくれます。この数分のやり取りだけで、私はエネルギーを伝授されてしまうのです。校長講話でも「命の大切さと強さ」について話をすることがありますが、今後は、佐藤さんの思いも盛り込んで、生徒に訴えかけたいと思います。

桜の開花予想も報道されるようになりました。これからの1か月、学年末考査や3年生の進路選択を経て、3月12日の合唱コンクール（町田市民ホールにて開催）、19日の卒業式と進んでいきます。年度のまとめ、成果と課題を確認して、進学や進級に向かえたらと思っています。

<学校2020レガシー・新体操競技>

3月13日(木)に東京女子体育大学新体操部(代表:秋山エリカ氏)学生による演技披露の機会をもちます。生徒は3年生対象ですが、地域・保護者の皆様は、どなたでもご覧いただけます。場所は体育館で、開始時間は、11:50の予定です。

<職場体験・2年・1月22日~24日>



*将来への具体的な目標を掲げながらの貴重な3日間でした。受け入れ事業所の皆様には感謝をいたします。

<鎌倉校外学習・1年・2月7日>



*天候にも恵まれ、試行錯誤しながら名所、旧跡を回ることができました。また、少し先になりますが、3年次の修学旅行への良き準備となりました。

<町田市少年少女発明クラブより>

第67回東京都児童生徒発明くふう展

佳作 3年生徒 作品名「おひるねまくら タイムアップくん」

<社会を明るくする運動・作文コンテスト>

町田市立金井中学校 東京都推進委員会 奨励賞

町田市推進委員会 優秀賞 2年生徒「興味を持ち知ることの大切さ」

同 優秀賞 2年生徒「挨拶は社会をもっと明るくする」

<ことばらんどショートショートコンクール2024>

東京町田・中ロータリークラブ会長賞 1年生徒

同 審査員賞 1年生徒